レンズリフォーマー Ａ２セット

液剤の施工可能台数　10台

取 扱 説 明 書

22410020

このたびは、グレイス製品をお買い上げ頂き、誠に有難うございました。お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。

安全上のご注意 ： 取扱説明書を必ずお読み下さい。

この取扱説明書、および製品への表示では、製品を安全に正しくお使い頂くようあなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために下記のような『マーク表示』を行っています。その表示と意味は次ぎのようになっております。

⚠警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

⚠注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると人が重傷を負う可能性、および物的損害の発生が想定される内容を示します。

■セット内容

①	22411036	G シールドガード Ⅱ 20cc	1本
②	22411043	G シールドトップコート 20cc	1本
③	22411050	G レジナ 603 100g	1本
④	22411060	G レジナ 605 100g	1本
⑤	・・・	G レジナ PC-Ⅱ 100cc	1本
⑥	・・・	バフレパット H	1個
⑦	・・・	バフレックスシート(ブラック)	10枚
⑧	・・・	バフレックスシート(グリーン)	10枚
⑨	・・・	スポンジ・コットン 2個・20枚	1セット
⑩	・・・	マスキングテープ 12mm・18m	2巻
⑪	・・・	取扱説明書(本紙)	1部

補充品品番

11440150	コバックス バフレパッド H 2個入
15140100	マスキングテープ 12mm・18m・10巻

■注意事項

ヘッドライトの表面は樹脂系コート材が施してあります。このコート材には硬い物から柔らかい物まで幅が広くあります。
硬いコート材の場合は黄ばみ・傷が取りづらく、逆に柔らかいコート材の場合は、磨き曇りが入り修復が難しい。
柔らかいコート材の施してあるヘッドライトの作業は本製品では避けてください。(柔らかいコート材使用車例;プジョー・ルノー等のフランス車) また、表面コート材が著しく痛んでいるもの(ひび割れ等)は修復不可能です。

⚠警告

●吸入飲食不可 ●全ての液剤は、人体に害がありますので、故意に吸入、点眼したり飲まないで下さい。●目に入ると傷害を生じる恐れがあるので十分に注意して下さい。●皮膚の弱い人は、かぶれる恐れがあるので、保護手袋を使用して下さい。●引火性がありますので、火気に近づけないで下さい。●子供の手の届く所に置かないで下さい。

⚠注意

●用途及び使用方法以外では使用しないで下さい。●製品の特性上、成分が分離したり、容器が変形する場合がありますが、品質上問題はありません、容器をよく振ってからご使用下さい。●火気のある場所では使用しないで下さい。

業務用

本製品をご使用になる前に、以下の販売条件をご承諾のうえご使用下さい。
●記載のデーターなどの技術情報については、当社の規定の試験方法による実験値でありますので正確性と安全性についての絶対的な保証はいたしかねます。ご使用される方は、本製品をご使用になる前に、用途目的にかなっているかどうかを必ずご使用される方ご自身でご判断いただき、それに伴うすべての責任と危険をご負担下さい。保証の範囲は、明らかな不良品の交換のみとさせて頂きます。●本製品の誤った取扱いによる傷害または損害については責任を負いかねます。●製品の仕様は予告無く変更になる場合があります。

⚠ 施工前の注意

●本製品は、車のヘッドライトレンズ表面の黄ばみ、白ボケを除去し、透明保護被膜を形成するものです。それ以外の用途、部分には施工しないで下さい。●黄ばみ、白ボケ、その他の汚れは、劣化や汚れが材質の表面から入り込んでいる深さにより、完全に落しきれない場合もあります。また バルブ装着側(内側)からの熱による劣化や汚れの付着については、外側からでは除去できません。●レンズ表面樹脂の成分や劣化状態により、透明感が損なわれる場合があります。●砂ほこり等を避けるため、風の強い日や屋外での作業はなるべく避け、室内の換気の良い場所で作業して下さい。

⚠ 研磨時の注意

●バフレックスペーパーによる研磨(劣化部分除去)は、必ず水をスプレーしながら均一行って下さい。適度に研磨しても取り切れない汚れは、表層割れが進行した深いヒビ割れと考えられますので、無理に除去しないで、次ぎの工程に進んで下さい。(本製品はヒビ割れ修理を目的とした商品ではありません) ●コンパウンドによる研磨は、きれいな柔かい布に本剤を適量付け、均一にお好みの状態になるまで、研磨を繰返して下さい。●ポリシャー等の機械工具を使用する場合は、摩擦熱でレンズ面を溶かしヒビ割れを発生させないように、手でレンズ面の温度を確認しながら、十分注意して下さい。

⚠ コート時の注意

●コート剤スーパーコルサを均一に塗布し、10分～30分(夏～冬)程度乾燥させて下さい。乾燥後、余剰分を洗い流すか固く絞ったタオルで拭取って下さい。●気温の低い日に施工する場合は、レンズ面から30cm程度の位置からドライヤーの温風を当てると被膜形成時間が短くなります。その際、レンズを傷める場合がありますので、ドライヤーの温風は一箇所に集中させず、レンズに均一に当てて下さい。

⚠ 施工後の注意

●施工完了後直後の走行は可能ですが、施工後2時間は施工部分に触れたり水を掛けないで下さい。常温時の硬化反応完了時間(24時間)以内に施工部分に水が掛かった場合は、速やかに水滴を拭取り、水の掛からない場所に移動して下さい。その間レンズ面に強い衝撃や摩擦等が加わるとコーティング被膜に傷が入る可能性がありますので、洗車等はしないで下さい。●施工面を研磨剤の入った洗剤や、コンパウンド、固いブラシなどで擦らないで下さい。コーティングが剥がれ、レンズ面の保護効果が失われます。●鳥の糞、樹液などが付着した場合、そのまま放置すると施工面に浸透し、コーティングを著しく劣化させる可能性がありますので速やかに洗い流して下さい。

①液 レンズ用コンパウンド レジナ 603
名　称　自動車レンズコンパウンド
用　途　自動車レンズ部汚れ落し研磨
成　分　ソルベント、研磨剤、乳化剤
内容量　100g
危険物区分　第4類 第2石油類 危険物等級Ⅲ

②液 レンズ用コンパウンド レジナ 605
名　称　自動車レンズコンパウンド
用　途　自動車レンズ部仕上げ研磨
成　分　ソルベント、研磨剤、乳化剤
内容量　100g
危険物区分　第4類 第2石油類 危険物等級Ⅲ

③液 レンズクリーナー レジナ PC-Ⅱ
名　称　自動車レンズクリーナー
用　途　自動車レンズ部汚れ部洗浄及び脱脂
成　分　非イオン界面活性剤、アルコール類
内容量　100cc
危険物区分　第4類 第2石油類 危険物等級Ⅲ

④液 劣化防止剤 シールドトップコート 20cc
名　称　自動車レンズコーティング剤
用　途　自動車レンズ部保護皮膜形成
成　分　変性シリコン、アルコール類
内容量　20cc
危険物区分　第4類 アルコール類 危険物等級Ⅱ

引火性注意

取扱上の注意

●使用前に取扱説明書を良く読み、すべての安全注意を理解するまで、取扱わないで下さい。●材質により変色や腐食する恐れがありますので、用途及び使用方法以外では使用しないで下さい。●吸入飲用不可 人体に害がありますので、吸入したり飲んだりしないで下さい。●皮膚に損傷 皮膚に損傷を与える恐れがありますので、ゴム手袋、ゴム製保護衣を必ず着用して下さい。●防爆型の電気機器、換気装置、照明機器、工具を使用して下さい。静電気放電や火花による引火を防止して下さい。

応 急 処 置

●吸入して気分が悪くなった場合は、直ちに作業を中止し速やかに通気の良い所で安静にして下さい。気分が回復しない場合は、本品持参の上、医師の診断を受けて下さい。●飲込んだ場合は、吐き出させないで、速やかに医師の診断を受けて下さい。●眼に入った場合は、こすらずに、すぐに15分間以上流水でまぶたの裏まで洗い、本品持参の上、速やかに医師の診断を受けて下さい。コンタクトレンズを着用の場合は、固着していないかぎり、取除いて洗眼し続け、速やかに医師の診断を受けて下さい。●皮膚に付着した場合は、布等で素早く拭取り、石鹸等で十分に洗い流して下さい。
●暴露した時、または気分が悪い時は、医師に連絡して下さい。
●火災の場合には適切な消火方法をとって下さい。●衣服にかかった場合には、シミになる恐れがありますので、速やかに洗浄して下さい。

保管及び破棄方法

●涼しい所、換気の良い場所で、施錠して保管して下さい。
●子供の手の届く所や、飲食物のそばなどには置かないで下さい。
●保管時には必ず密閉し、直射日光の当たる場所凍結の恐れのある所、40℃以上になる所や水、湿気の多い場所には置かないで下さい。●破棄の際は、内容物や容器を都道府県の許可をうけた専門の廃棄物処理業者に業務委託して下さい。

●レンズリフォーマー施工手順

■水滴、風、異物混入を防ぐため、屋内で作業して下さい。止むを得ず屋外で作業する場合、雨や風の強い日は、仕上りに悪影響を及ぼしますので、相当の対策を講じて下さい。

表示者
習志野エンジニアリング株式会社
千葉市美浜区幕張西6-25-1
043-297-4071

1 作業前確認

●ヘッドライトを洗浄し、砂、ほこり等を除去して下さい。
●この時あらかじめ、ボンネットを開け、ライト周辺も綺麗にして下さい。
●レンズ表面に表層割れ（細かくキラキラ光る浅いヒビ割れ）があるか確認して下さい。
●さらにレンズ表面の被膜（ハードコート）が剥がれた状態になっているか確認して下さい。

★表層割れ、深いヒビ割れは修復できません。

2 点灯確認

●ヘッドライトを点灯して、再度表層割れを確認して下さい。

●深い傷、ライト内側の傷、汚れは除去できませんのでお客様に事前に了解を頂いて下さい。

3 マスキング

使用するもの

ﾏｽｷﾝｸﾞﾃｰﾌﾟ 12㎜･18m

●ボディー等の傷防止、汚れ防止のために、レンズ周辺にマスキングテープを貼って下さい。
●マスキングテープは幅を広めに重ね貼りして下さい。特にレンズ周辺はペーパーが当たる可能性があるため、2～3重に重ね貼りして下さい。

★レンズとボディーとの間をまたぐようにマスキングテープを貼って下さい。汚れ防止となります。

4 研磨・バフレックスシート掛け

使用するもの

ﾊﾞﾌﾚﾊﾟｯﾄ H
ﾊﾞﾌﾚｯｸｽｼｰﾄ（ｸﾞﾘｰﾝ）
ﾊﾞﾌﾚｯｸｽｼｰﾄ(ﾌﾞﾗｯｸ)

●バフレックス グリーンを使用
●バフレックスシートの裏面中央の剥離紙をはがし、バフレパットの黒い面の中央に合わせ、シワにならないように両側の剥離紙をはがして四隅を合わせて貼って下さい。
●研磨するレンズ面に水を掛けながら、上下左右にバフレクスシートで均一に擦って下さい。
●水が茶黄色から白色に変わるまで繰返して下さい。
●汚れが取れ、一面に細かい傷が入ります。（白濁状態）
●次にバフレックス ブラックを使用し、仕上をして下さい。

5 研磨・コンパウンド 603

使用するもの

ｸﾞﾚｲｽ ﾚｼﾞﾅ 603 100g

ﾌﾞﾙｰｸﾛｽ（ﾏｲｸﾛﾌｧｲﾊﾞｰ）別売

●レンズ面の水気をよく拭取って下さい。
●細かな傷が入り白っぽくなったレンズ面を整えるため、適量のレジナ603をマイクロファイバークロス等に付けレンズ面を縦横に磨いて下さい。透明感が出るまでムラ無く磨いて下さい。

★回転ポリシャーを使用する場合は、ウールバフを使用し、（低回転）熱でレンズを傷めないように注意して下さい。

6 研磨・コンパウンド 605

使用するもの

ｸﾞﾚｲｽ ﾚｼﾞﾅ 605 100g

ﾌｧｲﾝｸﾛｽ（超極細繊維）別売

●さらにレンズ面を整える（透明感を出す）ために適量のレジナ605をファインクロス等の柔かい布に付けレンズ面を縦横に磨いて下さい。細かい傷が消え、透明感が出るまで磨いて下さい。

★回転ポリシャーを使用する場合は、ウレタンバフを使用して下さい。

7 脱脂作業・レジナ PC-Ⅱ

使用するもの

ｸﾞﾚｲｽ ﾚｼﾞﾅ PC-Ⅱ 100cc

ｺｯﾄﾝﾊﾟﾌ 6×5cm

●水を固く絞った市販のきれいなタオル等でレンズ面の汚れを拭取り、冷まして下さい。

●その後、適量の脱脂剤レジナ PC-Ⅱをコットンパフに付け、レンズ面に残ったコンパウンド油分を拭取り乾燥させて下さい。

★脱脂が不十分ですと、コーティング剤の密着不良の原因となります。ご注意下さい。

7 コーティング（シールドガード）

使用するもの

ｼｰﾙﾄﾞｶﾞｰﾄﾞ
ｺｯﾄﾝﾊﾟﾌ 6×5cm
ﾒﾗﾐﾝｽﾎﾟﾝｼﾞ 30×35×20㎜

●コットンバフをメラミンスポンジに巻付け、シールドガードをコットンバフに付け上下させ、液を浸み込ませて下さい。

●使用量は、**0．5cc/ライト1個**

★2個のヘッドライトを素早く順番に行うと効率よく作業できます。

9 コーティング・拭き上げ

使用するもの

きれいなタオル（別売）
推奨 ブルークロス

●塗布後すぐにきれいな柔かいタオルでシールドガードを拭取るように均一に薄く塗り延ばしながら拭き上げて下さい
●塗布後1分以内に拭き上げて下さい。時間が経つと徐々に硬化していくため、余剰分のコーティング被膜を拭き上げることができなくなります。

★ホコリの付着を避けるため、屋外での作業はできるだけ避けて下さい。

10 コーティング（シールドトップコート）

使用するもの

ｼｰﾙﾄﾞﾄｯﾌﾟｺｰﾄ

●シールドガード拭き上げ後、**10分乾燥**させ シールドトップコートを同様に均一に塗布して下さい。
●直ちに、きれいな柔らかいタオルでシールドトップコートを乾拭きして下さい。

●使用量は、**0．5cc/ライト1個**

11 乾　燥

使用するもの

ﾌﾞﾙｰｸﾛｽ（ﾏｲｸﾛﾌｧｲﾊﾞｰ）

●シールドトップコートを塗布・空拭き後、必ず10分以上自然乾燥させて下さい。

★乾燥時間中は水が掛かると被膜が定着しないため、水が掛からないようにして下さい。

★低温時は、ライトを点灯して暖めると効果的です。

12 マスキング除去・確認

●マスキングテープを剥がして下さい。
●レンズの周辺や、レンズ下部の汚れを市販のタオル等できれいに拭取って下さい。

★硬化反応完了時間（24時間）以内に施工部分に水が掛かってしまった場合は、速やかに水滴を拭取り、水の掛からない場所に移動して下さい。
★冬季時は、夜露が掛かりますので午前中の作業をお勧め致します。